

視 点

医療政策の方針 年度内に明確化

骨太方針2026が7月21日に閣議決定されたが、医療分野の個別政策の方針は、7月7日の自民党と日本維新の会で合意した社会保障改革項目に関する骨子と概ね同様である。高市内閣の「責任ある積極財政」の下で、物価・賃金対応には配慮しつつ、歳出改革努力を継続し、現役世代の保険料率の上昇を止め、引き下げるのが目標となる。その手段の具体化は今後の議論となる。

骨太方針2026でも骨子でも、多くの改革項目が並ぶが、結論が出ていないものは多くない。2027年度の社会保障負担率が2025年度と比較し、

上昇しないよう取り組むとして、負担率の目標は引き続き検討課題となる。制度改革の工程は、令和8年度中に明確化するとされた。

その中で、現役世代の窓口負担が3割であることを踏まえた高齢者の窓口負担見直しの検討は、工程表を年内に策定する。見直しでは両文書とも、「低所得者等の必要な受診が確保されるよう適切に配慮することが前提」としており、慎重な議論になる見込みだ。

また、医療の消費税問題について骨子では、控除対象外消費税の負担が病院等で一時的に大きくなる場合がある

社会保険旬報 目次

No3007 2026年8月1日

座標

「骨太の方針」に日医松本会長が見解
医療材料の逆ザヤ問題でヒアリング実施 …… 4
選定療養差額ベッドは総病床数の23.0%
令和7年国民生活基礎調査の結果 …… 5

動向

骨太方針2026と日本成長戦略を決定
今年度中に社会保障改革の工程を明確化 …… 6

論評

無床診療所におけるICT充実度の
長期的進展状況
—無形固定資産額の増加率に着目して
荒井 耕 …… 10

霞が関と現場の間で⑧

高市内閣の骨太方針
中村 秀一 …… 15

潮流

支払基金が7年度の事業実績等を公表 …… 16
支払基金の7年度診療報酬確定状況 …… 20
“医師の働き方改革”で新検討会が始動 …… 22
電子カルテ導入等の費用が経営を圧迫 …… 24
全自病が令和7年度決算状況等で会見 …… 26
血液製剤の生産基盤強化構想を発表 …… 27

NEWS

東総協と東振協が総会
令和7年度事業報告を承認 ほか …… 28

療養の給付の取扱いについて …… 33

年金の動き …… 35

資料

医師の労働時間の実態 …… 38

資料

薬剤費等の年次推移について …… 41

編集室・ワードカプセル …… 42